

ゆきとどいた教育を求めて県交渉

香川県教職員組合や県高等学校教職員組合などでつくる香川の教育をよくなる県民会議は10日、池田豊人知事宛に「ゆきとどいた教育を求める香川県署名」6412筆分を提出し、県教育委員会に申し入れました。

署名は、物価高騰で貧困と格差が広がるなか、子どもたちの命と健康を守り、学習権を保障するため、教育の無償化や20人学級を展望した少人数学級への前進、教職員の増員などを求めています。同会の参加者は「学校現場が時間と精神的に余裕がない環境では、教師にならないと思えない」、「先生が足りないが、各県で先生を取り合っても解決しない」、「学校の統廃合や移転で町が廃れ、地域コミュニティの質が変化する」など、切実な声を訴えました。



それだけではありません。自民党憲法改正草案は緊急事態において「内閣総理大臣は財政上必要な支出その他の処分を行い、地方自治体の長に対して必要な指示をすることができ」としており、このうち前段は、韓国憲法七十六条の、大統領に「必要な財政・経済上の処分」を行う権限を与えることと同じです。ちなみにこの「緊急時の財政上の支出・処分」権限は、明治憲法にも「公共ノ安全ヲ保持スル為緊急ノ需用アル場合ニ於テ：勅令（天皇の命令）ニ依リ財政上必要ノ処分ヲ為スコトヲ得」と、同様の規定がありました。

また、後段の「地方自治体の長に対する必要な指示」権限は昨年6月に地方自治法が改正され、大規模な災害、感染症のまん延その他の国民の安全に重大な影響を及ぼす（おそれのある）事態」において国が地方公共団体に對し「必要な指示ができる」

とされたことですので先取りされています。

さらに、自民党憲法改正草案では現行憲法で人権制限を可能にする唯一の概念である「公共の福祉」（「より多くの国民の幸福」という概念がすべて「公益及び公の秩序」に置き換えられました。「公益」は個人（国民）の幸福ではなく国家の利益であり、「公の秩序」という言葉は韓国憲法七十六条にも、また明治憲法にも「安寧秩序」という表現で人権を意のままに制限する概念として規定されています。加えてより重大なことは、自民党草案では二十一条の「集会・結社・言論・出版その他一切の表現の自由」規定に「二十一条の二」を加えて、「前項の規定にかかわらず、公益及び公の秩序を害することを目的とした活動を行い、並びにそれを目的として結社をすること

「戒厳令」と緊急事態条項（3）

9条の会・かがわ事務局



とは、認められない」と、「表現の自由」を制限しようことをわざわざ憲法に明記しています。民主主義実現の根幹である「表現の自由」の制限は、今回の韓国の非常戒厳でも最重要視されたことで、強権・独裁政治の常とう手段です。自民党の改憲案は、それ自体が人権制限を目的としているものと言えます。

今回の韓国の事態は、決して「対岸の火事」ではなく、自民党はじめ改憲勢力がめざすものを明らかに示したものであるでしょう。歴史の流れに逆行し民主主義を否定する独裁国家、軍事国家への道を決して許してはなりません！

私学助成増額を求め県知事交渉（後編）

1月27日、香川県私学助成をすすめる会の田中健二会長と教職員、保護者の代表で池田香川県知

の拡充を訴え「昨今の物価高や将来の進学（大学や専門学校）の学費は上昇の一途」に向け1年生段階からアルバイト申請が多い」「授業料滞納者の人数は減少傾向だが、何か月も滞納する生徒家庭は各学年複数存在してい

はほぼ休まず、自らの意志で選択した大学に進学した。私学に通わせて良かった、「3人の子供は全員私学。シングルマザーで金銭的な負担は大きかったが、3人とも充実した高校生活を送れた。しかし、長男が卒業後に大学に進学したかったと漏らしたこと、修学旅行に行かせられなかったことは残念だった」とのべ



池田知事は、「全国大会に出場するためなどで私学の生徒達と面会する

「日本被団協」がノーベル平和賞を受賞

香川の一会員として思うこと⑤ 藤井 明

地球に生きている人はみな被爆者候補だ！……事故でも「被爆者」が大量に

核兵器に関わる事故も、この80年の間に幾度となく起きています。そしてその中には、かなり際どいケースもありました。事故によって「被爆者」

勇気りんりんエッセイ 白川よう子

四国でも大雪を降らせた大寒波。というより温暖化の影響で降った大雪。ハウス栽培などでも大きな被害が発生しています。気候危機対策は待ったなしです。トランプ米大統領は就任直後に「パリ協定離脱」にサイン。日米首脳会談では、待ったなしのこの課題に石破首相は改めるよう求めもせず、ガザ地区の住民の強制移住も、辺野古新基地建設についても、米兵による性暴力事件も、自論でもある「日米地位協定」の改定についても、何ひとつ口にすることもできずに尻尾を振ってきたのみの会談でした。

こんな酷い政治を変えたいと、17県を駆け回っています。先週は赤嶺政賢衆議院議員と石垣島での「新春のつどい」に参加し、八重山の住民やオール沖縄の議員さん方とも交流を深めました。その後、参議院会館へ行き、高知県の真ん中世代の皆さんと省庁交渉。そして大雪の岡山県北部地域に向かい、今週はまた那覇市に。寒暖差20度と移動距離の大きさに驚きの毎日です。



いします」と切り出します。赤旗読者、猫ちゃんの保護活動をされている方、子育て中のお母さん…今の暮らしの実態や政治に求めることなどをお聞きしました。「沖縄は日常から物価が高く、その上の物価高騰で大変」「給食費無料をぜひ」などなど行く先々で要求が湧き出していきます。

★1958年、B47爆撃機に搭乗していた空軍大尉がつつかりレーバーをつかんだことで爆弾倉が開いたため、米サウスカロライナ州の民家の庭に核爆弾が落下。

★1961年【4面に】